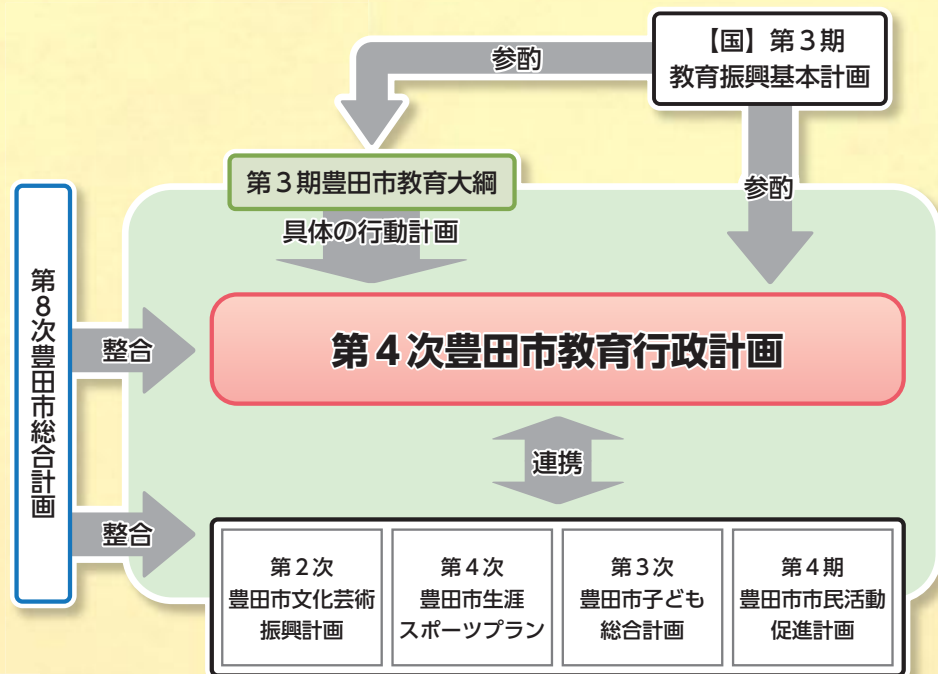


- ・学校教育分野を中心とした、本市の教育行政における基本的な計画です。
- ・関連する文化、スポーツ、幼児教育、成人の社会教育の各分野の計画と連携を図ります。



第4次 豊田市教育行政計画 2022 ➡ 2025

キーワード

「未来を拓く学び合い」

この計画では、大きな変革の時代において、家庭・学校・地域が共に学び合いながら、未来を拓く子どもたちを育てていきたいという考えのもと、そのことを多くの市民のみなさんに伝えるために「未来を拓く学び合い」をキーワードとして、取り組んでいきます。子どもたちのために、みなさんができることから一緒に取り組んでいきましょう！



計画の体系

基本理念	めざす人物像	重点施策		基本施策	
		施策名	重点事業	施策名	施策の柱
多様な市民一人ひとりが自ら学び、地域と共に育ち合う教育の実現	生涯にわたって、自ら楽しく学び、育ち続ける人（自立）	① 自らの可能性を広げる力の育成	○「主体的・対話的で深い学び」推進事業 ○ICT活用・整備推進事業 ○子どもの読書活動推進事業	① 生き抜く力を育む学校教育の推進	① 学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進 ② 確かな学力を育む教育の推進 ③ 豊かな人間性を育む教育の推進 ④ たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進
	夢に向かって挑戦し、未来を切り拓く人（創造）	② 誰もが安心して自分らしく学べる場の確保	○きめ細かな教育推進事業 ○いじめ・不登校対策事業 ○特別支援教育推進事業 ○外国人児童生徒等教育事業 ○学校施設長寿命化改修事業	② 安全・安心で快適に学べる教育環境の充実	① 学校施設の環境の充実と整備の推進 ② 給食調理環境の整備 ③ 中央図書館の再整備
	豊田市の多様な魅力を分かち合い、次代へ継承・発信する人（郷土愛）	③ 郷土を愛し、生涯学び、活躍できる機会の創出	○WE LOVE とよた教育プログラム推進事業 ○ものづくり教育プログラム事業	③ 暮らしを豊かにする学びの支援	① 市民の活躍を支援する学びの場の充実 ② 図書資料等を通じた出会いと交流の促進と課題解決の支援 ③ 子どもの読書活動の推進
	互いに認め合い、助け合いながら、共働によるまちづくりに取り組む人（共働）	④ 家庭・学校・地域の共働の推進	○コミュニティ・スクール／地域学校共働本部推進事業 ○地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業	④ 地域による次世代人材の育成の促進	① 小・中学生が主体的に活動できる機会の充実 ② 高校生・大学生の社会参加活動の促進 ③ 自立に困難を抱える若者の支援 ④ 家庭教育力の向上
				⑤ まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進	① ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実 ② 高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

豊田市教育委員会 教育政策課

〒471-8501 豊田市西町3-60 電話：0565-34-6658 FAX：0565-34-6771

令和4年（2022年）3月

※詳しくは計画書本編をご覧ください



このコードは
音声コードUni-Voiceです



・Portugues
・簡体中文
・English
・Tagalog
・やさしいにほんご

豊田市教育委員会



このコードは
音声コードUni-Voiceです

計画策定の趣旨

社会が大きな転換点を迎える中、全ての人が豊かな人生を生き抜くために必要な力を身に付け、活躍できるようにする上で、教育の果たす役割、重要性はますます高まっています。第3次豊田市教育行政計画の計画期間の終了に伴い、本市の教育のより一層の振興をめざして、教育行政の方向性を明らかにするとともに、真に必要な取組を着実に推進するため、新たな教育行政計画を策定します。

基本理念

多様な市民一人ひとりが自ら学び、地域と共に育ち合う教育の実現

めざす人物像

ふれあい豊かな地域社会づくりの目標である「豊田市民の誓い」を道しるべに、本市の教育としてめざす人物像を明示します。

自立

生涯にわたって、自ら
楽しく学び、育ち続ける人



創造

夢に向かって挑戦し、
未来を切り拓く人



郷土愛

豊田市の多様な魅力を
分かち合い、次代へ
継承・発信する人



共働

互いに認め合い、助け合い
ながら、共働による
まちづくりに取り組む人



主な取組

教育行政を計画的に進めるため、4つの「重点施策」に12の「重点事業」を設定します。

重点施策① ▶ 自らの可能性を広げる力の育成

知識・技能の習得に加え、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を育成し、学びに向かう力や人間性を育みます。

- 例えばこんなことを実施します
- 「学力向上授業モデル」の作成と、学校における活用促進
 - 学習用タブレットを活用した授業改善とともに、一人ひとりの能力や適性に応じた学習や、他者と協働して考えをまとめたり、表現したりする学習の推進
 - 中央図書館の出前講座による学校の調べ学習の支援

状態指標	現状値	めざす方向
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	84.6% (小学生) 69.8% (中学生)	↗
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していると思う児童生徒の割合	79.5% (小学生) 67.5% (中学生)	↗



このコードは
音声コードUni-Voiceです

重点施策② ▶ 誰もが安心して自分らしく学べる場の確保

誰もが安心して自分らしく学べるように、一人ひとりの能力や適性に応じた支援体制を充実します。

- 例えばこんなことを実施します
- 学級編制の標準を30人とする市独自の少人数学級の推進
 - 不登校児童生徒の社会的自立に向けた新たな居場所づくり
 - 医療的ケアが必要な児童生徒への新たな支援体制の構築
 - 学習用タブレットの翻訳機能を活用した多言語学習支援
 - 学校施設を80年使用し続けるための長寿命化改修



状態指標	現状値	めざす方向
学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合	84.9% (小学生) 79.7% (中学生)	↗
一人ひとりにわかりやすい授業をしていると思う保護者の割合	66.7%	↗
先生が自分のよいところを認めてくれていると思う児童生徒の割合	85.9% (小学生) 79.1% (中学生)	↗

重点施策③ ▶ 郷土を愛し、生涯学び、活躍できる機会の創出

市の多様な資源を生かして学習・活動機会を充実するとともに、人生100年時代を見据え、生涯学び、活躍できる機会を創出します。

- 例えばこんなことを実施します
- 豊田市の教育資源（施設・人材）の活用による魅力的な授業
 - 自然・科学・匠の技を体感する「ものづくり教育プログラム」



状態指標	現状値	めざす方向
日ごろの生活の中で生きがいを感じている市民の割合	72.2%	↗
自分の住む地域が好きだという児童生徒の割合	88.6% (小学生) 84.5% (中学生)	↗

重点施策④ ▶ 家庭・学校・地域の共働の推進

家庭・学校・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を共働により推進します。

- 例えばこんなことを実施します
- 地域学校共働本部と交流館等との連携強化
 - 地域人材を活用した休日の部活動運営の改善



状態指標	現状値	めざす方向
1年以内に、小・中学校の活動又は児童生徒とともに行う地域の活動に参加した市民の割合	15.0%	↗
地域の行事や活動に参加している児童生徒の割合	80.0% (小学生) 70.3% (中学生)	↗



このコードは
音声コードUni-Voiceです